

<都市住民等との交流を実施している事例>

## ○グランドカバープランツ導入作業で交流

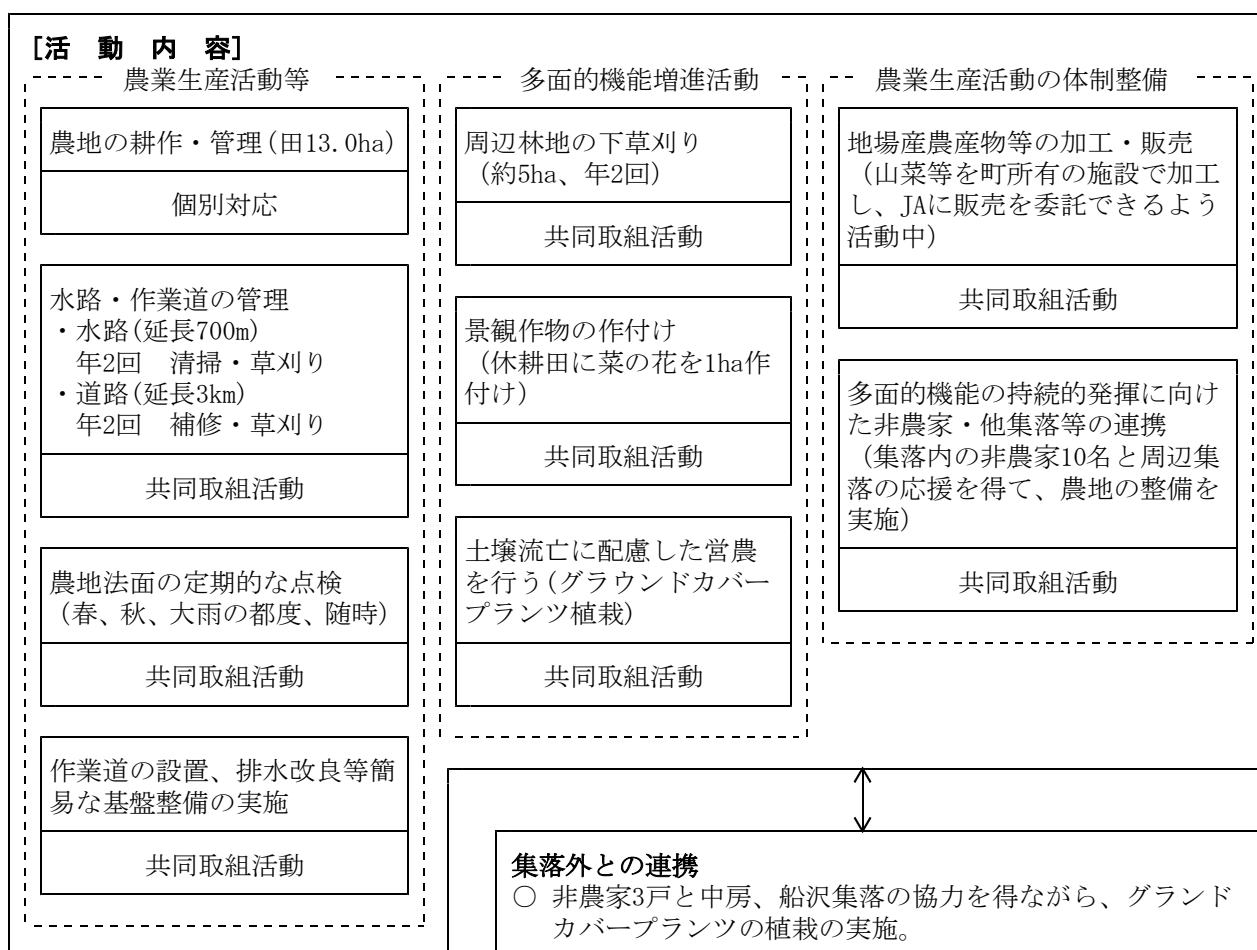
### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	秋田県横手市 <sup>よこてし</sup> 塚須沢 <sup>つかすざわ</sup>			
協定面積 13.0h	田 (100%) 水稻、転作作物	畑	草地	採草放牧地
a				
交付金額 272万 円	個人配分	50%		
	共同取組活動 (50%)	集落担当者活動経費		6%
		集落マスタープランの将来像を実現するための活動経費		7%
		鳥獣害防止対策、水路農道等維持・管理等共同取組経費		29%
		農用地の維持・管理活動経費		8%
協定参加者	農業者19人 生産組織1組織 水利組合1組織			

### 2. 集落マスタープランの概要

当地域でも高齢化が進んでいることから集落営農の維持を目指し、集落内外の参加者による「グランドカバープランツ」植栽の取組や山菜等地場農産物の加工・販売などの活動を行っていくこととした。

併せて、水源保護林の維持管理や減農薬栽培など自然にやさしい農業を目指すこととした。



### 3. 取組の経緯及び内容

当集落は、農業従事者の高齢化が進行し農地を維持するための作業も懸念される状況であった。このため、集落全体で助け合いつつ、営農を維持していくこととした。

水路等が徐々に整備されつつある中、農地の法面・畦畔などの草刈り省力化を目的として低い草丈の植物を植えることで草丈の高い植物の成長を抑制する「グランドカバープランツ」の導入を図っている。植栽作業は平成17年から毎年実施しており、県・市の協力を得ながら、周辺集落や地元横手市、秋田市などからも多くの参加者があり、集落の活性化が図られたことはもちろんのこと、都市部からの参加者が農村への関心を強く示すなどの成果が得られている。このほか、周辺山林の山菜を採取し、加工・販売することを目指していくこととしている。

#### ○農用地等保全マップ



平野の末端から伸びた沢部に位置し、狭隘な地形であることが判別可能。

対象農地、農道、水路の補修（予定）箇所を明瞭に記載。



法面管理



植栽作業の参加者

#### 【平成19年度までの主な効果】

- 所得向上に向けた地場産農産物の加工・販売の取組
  - ・商品化を目指し、山菜を実験栽培の実施（当初0ha、目標0.3ha、H19実績0.1ha）
- 周辺集落及び市内外からも参加を募り、農地法面・畦畔へグランドカバープランツの植栽を実施。
  - ・3年間継続（年間100㎡）しており、県内外からの視察者が約300名
- 休耕田へ菜の花を作付けし、環境保全活動の実施（当初0ha、目標3ha、H19実績1ha）